

概要

○ 湘南・県央地域では毎年60名前後の新規就農者がいるが、農業に関する技術レベルや経営に対する考え方は多様である。

○ このため、集合研修と個別巡回指導を組み合わせた新規就農者の定着支援、個々の経営発展段階や経営に対する考え方に応じた支援、優れた経営感覚を有するトップ経営体の育成支援を行うことで、未来の「かながわ農業」の中核を担う農業経営者を育成している。

具体的な成果

1 農業基礎セミナーによる基礎知識の習得支援

- ・ 新規就農者をセミナーに勧誘、集合研修や定期的な個別巡回を実施。
- ・ 基礎知識の習得状況を確認するチェックリストを作成・活用し、受講生の理解度が低い項目の把握とフォローアップにより理解度向上が図られた。

農業基礎セミナー受講生数：延べ116名（R4～6）

2 ステップアップセミナーによる経営力の習得支援

- ・ 経営改善に意欲のある農業者を対象とし、先進事例視察研修等の集合研修や個別巡回を実施。
- ・ 経営改善のためのチェックリストを作成・活用して、経営における課題とその解決方法を整理し、経営ビジョンの作成を支援した。

経営ビジョンを作成した受講生数：延べ13名（R4～6）

3 トップ経営体を目指した経営強化プランの実現支援

- ・ 県農業振興課が開催する「かながわ農業版MBA研修」の修了生を対象として、研修時に作成した経営強化プランの実現を支援。
- ・ 修了生ごとに具体的な取り組みを記載したフォローアップシートを作成し、個別巡回で進捗状況の確認と助言を行った。

フォローアップシートの目標達成者の割合：93%（R4～6）



普及指導員の活動

令和4年～6年

- | | |
|------|---|
| 4～5月 | ■ 農業基礎セミナー生の勧誘 |
| 6月 | ■ 農業基礎セミナー開講式、集合研修 |
| 6～3月 | ■ 各事業の個別巡回、集合研修の実施 |
| 9月 | ■ 農業基礎セミナーチェックリスト、トップ経営体フォローアップシートの中間評価 |
| 2月 | ■ 各チェックリスト・フォローアップシートの年度末評価 |
| 3月 | ■ 農業基礎セミナー閉講式 |

普及指導員だからできたこと

- ・ 新規就農時から担当普及指導員を決めて定期的な巡回を行い、経営発展状況や農業経営の考え方を把握することで、個々の経営に応じたきめ細かい支援につながっている。

農業の担い手の育成支援

活動期間：令和4年度～7年度（継続中）

1. 取組の背景

普及指導部管内（湘南および県央地域）では、毎年60名前後が新規就農している。就農形態は新卒就農やUターンのほか、近年は新規参加者が増えてきており、農業に関する技術レベルや経営に対する考え方は多様である。

このため、集合研修と個別巡回による指導を組み合わせた新規就農者の定着支援、個々の経営発展段階や経営に対する考え方に応じた支援、優れた経営感覚を有するトップ経営体の育成支援を行うことで、未来の「かながわ農業」の中核を担う農業経営者を育成する。

2. 活動内容（詳細）

「農業の担い手の育成支援」を重点課題に位置付けた普及指導計画を作成し、次の取り組みを行った。

（1）農業基礎セミナーによる基礎知識の習得支援

- ・新規就農者を対象として農業基礎セミナー（最長2ヵ年）により基本的な知識や技術の習得支援を行った。
- ・4～5月にセミナーの勧誘、6月に開講式を行い、以後、集合研修（共通セミナー、部門別専門セミナー）と月1回程度の個別巡回指導を行った。
- ・基礎知識の習得状況を確認するチェックリスト（12項目、5段階評価）を作成し、中間評価と年度末評価に活用した。



（2）ステップアップセミナーによる経営力の習得支援

- ・農業基礎セミナー修了生のうち経営改善に意欲のある農業者を対象とし、ステップアップセミナー（3ヵ年）を実施し、経営改善に関する支援を行った。
- ・先進事例視察研修等の経営能力向上につながる集合研修の開催や個別巡回指導を行った。



- ・経営改善のためのチェックリストを作成し、課題の明確化、課題解決方法の検討、経営ビジョンの作成による支援を行った。

(3) トップ経営体を目指した経営強化プランの実現支援

- ・ステップアップセミナー修了生等のうち、常時雇用を行うなど優れた経営感覚を有するトップ経営体を目指す農業者に対して、農業振興課が開催する「かながわ農業版 MBA 研修」の受講を促した。
- ・MBA 研修の修了生を対象として、修了後3ヵ年のフォローアップを実施した。研修時に作成した経営強化プランの実現を支援するため、修了生ごとに具体的な取り組み目標を記載したフォローアップシートを作成し、個別巡回で進捗状況の確認と助言を行った。

3. 具体的な成果（詳細）

(1) 農業基礎セミナーによる基礎知識の習得支援

- ・令和4～6年度にかけて、延べ116名が基礎セミナーを受講した。
- ・チェックリストにより受講生ごとに理解度が低い項目を把握でき、個別巡回時にフォローアップを実施することで、チェックリスト全項目4以上の受講者の割合が中間評価時27.5%から期末評価時58.8%と理解度向上が図られた。

(2) ステップアップセミナーによる経営力習得支援

- ・チェックリストにより、1年目のセミナー生に対して経営に関する課題の整理、2年目は課題解決方法の検討を行うことができた。1～2年目の取り組みをもとに、3年目には経営ビジョンの作成支援を行った。
- ・令和4～6年度にかけて、延べ13名の経営ビジョンの作成を支援した。

(3) トップ経営体を目指した経営強化プランの実現支援

- ・個別巡回により修了生個々の取り組み目標を記載したフォローアップシートを作成するとともに、補助金の利用希望者には事業計画の作成支援を行った。
- ・令和4～6年度にかけての支援対象者は29名で、うち27名(93%)がフォローアップシートの目標を達成することができた。

4. 農家等からの評価・コメント

集合研修の参加者からは、「意識して作業すべきポイントを理解することができた」、「他の就農者と会うことができてよかった」、「他の先進農家は場も見てみたい」等のコメントがあった。

5. 普及指導員のコメント

かながわ農業アカデミーや農業振興課等と連携し、新規就農時から経営発

展を経て地域のトップ経営体になるまでの各段階に応じた支援を行うことで、中核を担える農業経営者の育成を進めている。
(神奈川県農業技術センター普及指導部 曾根田副技幹)

6. 現状・今後の展開等

引き続き、新規就農者の定着や経営発展段階に応じた支援を継続し、農業の担い手育成に取り組んでいく。

集合研修については、チェックリストやアンケート結果をもとに、よりよい内容や開催方法となるよう適宜見直していく。